

金剛地区まち再生に向けた提言書

【概要版】

大阪大都市圏に立地するニュータウンの一つである金剛地区は、昭和40年代前半に土地区画整理事業で開発された大規模住宅市街地です。開発後約半世紀が経過しており、居住者の高齢化や少子化とともにコミュニティや日常生活の維持増進の困難さ、住宅や各種の公共施設等の老朽化、現状の土地利用へのニーズとの乖離など、オールドタウン化による様々な問題を抱えています。

このような社会的背景の中で、金剛地区における今後の少子高齢社会の進行や各種施設の老朽化、新たな土地利用ニーズなどへの対応策と今後の将来像を探求するために、都市計画、交通、福祉、経済・産業、及び建築に係る専門的な立場の学識経験者で構成する「金剛地区まち再生研究会」を組織して検討を進めてきました。

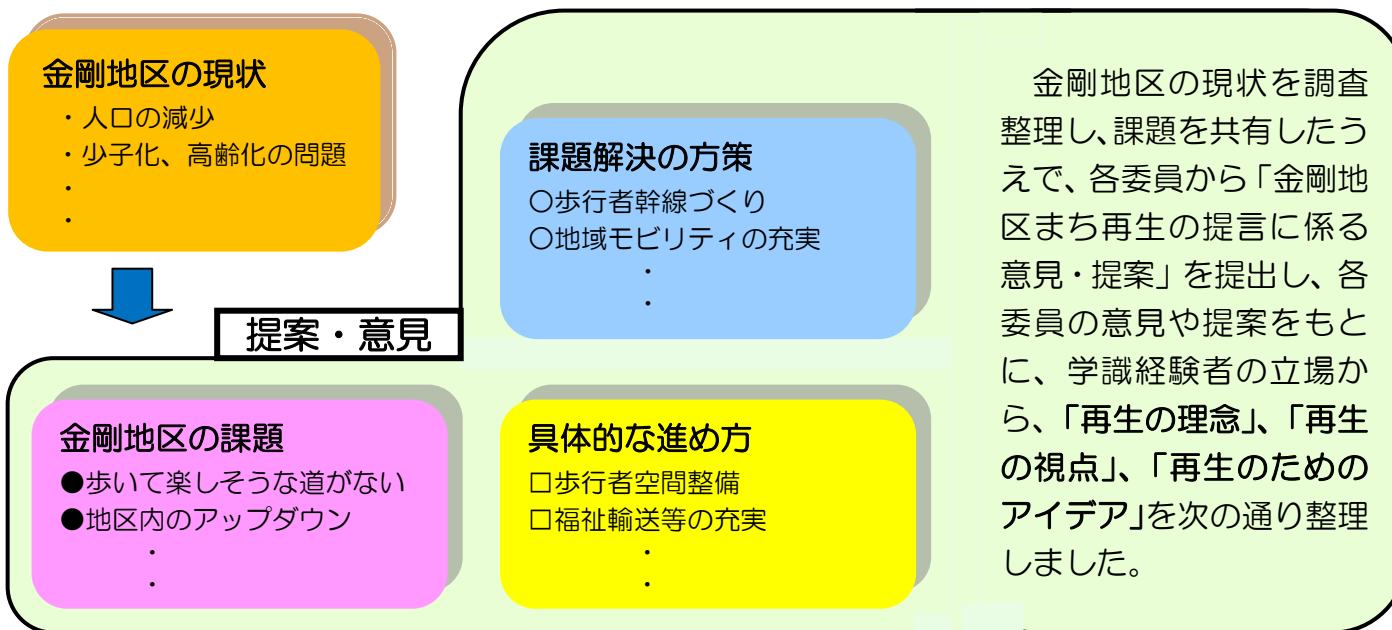
本研究会では、金剛地区の現状を調査整理し、課題を共有したうえで、各委員から「金剛地区まち再生の提言に係る意見・提案」を提出し、各委員の意見や提案をもとに、学識経験者の立場からこの提言を取りまとめました。

この提言では、金剛地区のまち再生にあたっての大切にすべき点を、「再生の理念」、「再生の視点」、「再生のためのアイデア」とし取りまとめています。

この提言が、今後、居住者や市民の方々、行政、事業者、専門家が協働して取り組まれます住民参加型の「金剛地区まち再生」を具体的に実行されていく際の参考となることを期待します。

2014年（平成26年）3月
金剛地区まち再生研究会

金剛地区まち再生に向けた提言に係る策定体系



再生の理念

再生のための価値観、規範となる大切な項目として、次の4項目を整理しました。

住民が参画し改善し続ける住民主体のまちづくり

多様な人々が暮らしやすく住み続けられるまちづくり

周辺地域と融合した多機能型のまちづくり

富田林市の風土を活かした知的・文化的なまちづくり

再生の視点

再生の理念に基づき、再生に取り組むための視点として、次の6項目を整理しました。

住宅・住宅地のあり方

都市基盤のあり方

地域コミュニティのあり方

まちを支える都市機能のあり方

子育て・高齢者支援のあり方

再生の進め方のあり方

再生のためのアイデア

再生の視点に基づき、次の18項目を整理しました。

① 住宅・住宅地全体の改善

⑦ 子育て支援の充実

⑬ 低未利用地の有効活用

② 集合住宅（賃貸）の改善

⑧ 暮らしを支える生活サポート機能の充実

⑭ 防災・防犯対策の促進

③ 集合住宅（分譲）の改善

⑨ 移動利便性の充実

⑮ 知的・文化的拠点としての環境づくり

④ 独立住宅の改善

⑩ 歩いて暮らせる健康的で快適なまちづくり

⑯ 周辺地域との交流

⑤ 地域コミュニティの形成と拠点づくり

⑪ 都市施設（道路・公園・上下水道など）の計画的な改善

⑰ 地域に根ざすコミュニティビジネスの育成

⑥ 高齢者支援の充実

⑫ 美観・景観のまちづくり

⑱ 金剛地区の再生の進め方とその拠点づくり